

# 町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地1  
電話：74-0212 FAX：74-0105  
E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

## 異文化に驚き、国際感覚を養う

### ▼第6回おしどり学園



▲「爆買い」から中国文化をひもとく

10月13日、第6回おしどり学園を開きました。

今回は、放送大学鳥取学習センターとの共催で、「爆買いにみる中国文化」と題し、放送大学客員准教授で鳥取大学教育センター准教授の崎原麗霞さん（中国福建省出身）の講演を行いました。

崎原さんは、日本における

中国人観光客の推移や増加の理由のほか、なぜ日本に来て爆買いするのかについて解説。爆買いによる影響や効果などに触れながら中国文化をひもといていきました。

「中国を魅了しているのは、日本の『清潔感』と崎原さん。東京や大阪、京都といった大都会をはじめ、まちなかにほごみ一つないことを挙げながら、「絵に描いたような静かな町なみ、食の安全、正確で便利な交通機関など、『清潔感』が漂い、心休まる『癒し』が満喫できることが日本を訪れる理由」と話しました。

日本では当たり前なことでも、世界や中国からは魅力として映るということに学園生は気付かされ、自分の視野を広げる一日となりました。

### 「いつでも・どこでも・誰でも」放送大学で生涯学習

放送大学は、テレビやインターネットを利用して学ぶ通信制大学です。現在、平成30年度第1学期（4月入学）の学生を募集しています。心理学・福祉・経済・歴史・文学など幅広い分野を学べます。

**出願期間**（第1回）平成30年2月28日（水）まで

（第2回）平成30年3月1日（木）～3月20日（火）

**問合せ先** 放送大学鳥取学習センター（電話0857-37-2351）

※放送大学は、BS放送や中海テレビ274チャンネルで視聴できます。

## 健康で長く生きるための秘訣

### ▼第7回おしどり学園



▲「元気に長生き！」と伊田さん

11月17日、第7回おしどり学園を開きました。

今回は、「住み慣れた地域で暮らし続けるために」と題し、役場健康福祉課の伊田達彦さんの講演を行いました。

はじめに、介護が必要になる主な原因の一つに「高齢による衰弱」をあげ、転倒や骨折がきっかけになっていると説明。それを予防するための

取り組みとして「いきいき百歳体操」を紹介しました。

転倒予防や筋力アップなどの効果があるという百歳体操。97歳の女性が体操後、しっかりと歩く姿が映るビデオをみて驚きの声上がるほど。現在、百歳体操に取り組む自治会やグループが増え、取り組みが広がってきています。

また、高齢者を悩ませる認知症についても説明。「認知症は完治しないが、薬で進行を遅らせることができる」と伊田さん。「最近様子がおかしいなど感じたら医師に相談するなど、早期治療が大事」「適度な運動やコミュニケーションなど脳に心地よい刺激を与えることも認知症予防に効果的」と話し、学園生は興味深く聞き入っていました。

## 第9回おしどり学園のご案内

**日時** 平成30年1月19日（金）午前9時30分

**場所** 町公民館 講堂

**内容** 講演「鳥取の民俗」/講師 鳥取県立博物館学芸員 福代宏さん

※講演はどなたでも参加できます。

**問合せ** 町公民館（電話 74・0212）

# 『地域の子どもは地域で見守り育てよう』

～「冬休みの生活について」日野町青少年育成会からのお願い～

もうすぐ冬休みです。お年玉をもらい、子どもたちがお金を使う機会も増え、日常とは違う解放感が広がります。子どもたちを安全に健やかに育てるため、地域の皆さん自らあいさつをしたり、手本になる行動を示したり、どの子もわが子と同じように、地域で守り育てましょう！

## 町内の学校の冬休み期間

小中学校 12月23日(土)～1月8日(月) / 日野高校 12月22日(金)～1月8日(月)

### 『凡事徹底』

○「あいさつをする」「返事をする」「履き物をそろえる」…どこでも当たり前のことを徹底しましょう。

### 『家庭で育む『生きる力』』

○家族のきずなを深めましょう…温かい言葉で心が元気! ○早寝・早起き・朝ごはん…規則正しい生活で体が元気!

### 『いつでも、どこでも地域の子どもに目を』

○「褒める」と「叱る」を上手に使いましょう / 地域の子どもは地域で育てましょう / ルール違反に見て見ぬ振りをせず、迷わず注意をしてください。

毎月第3日曜日は「家庭の日」 ○温かい雰囲気の中で、家族の対話を図りましょう

## “あの子もこの子も地域の宝、ひと声かけて育てよう”

青少年の心を育てるキャンペーン「大人が変われば子どもも変わる」県民運動実施中!

## ふるさとのことば

～日野弁なんずかんず～ 第53回

### 地名の由来の共通点とは

さて問題です。町内の地名のうち、「津地」「小河内」「渡」の由来は、実は共通しているという説があるのですが、それは一体何でしょう。答えの前に、まずは長谷部信連の話をいたしましょう。信連は、平安末期から鎌倉時代にかけて活躍した武士で、都で高倉宮(たかくらみや)に仕えていました。1180年、王の平家追討の計画が発覚した際に王を密かに脱出させます。野郡金持村(現在の金持)に流刑となりました。

その後下樓に移り、計7年間日野の地に暮らし、家来と開拓に努めたといわれます。都を懐かしみ、延暦寺(根雨)や賀茂神社(本郷)、祇園神社(根雨)を建立したほか、多武の峰(塔の峰)を名付けたことには特に有名です。と、ここで、冒頭の答えを発表しましょう。これらの地名は、信連の家来の名字「津知」「小河内」「渡里」が由来ではないかといわれています。思いがけないところに歴史は息づいているのですね。

協力：日野町歴史民俗資料館友の会 参考：「わたしのまち 日野町」

## ☆町公民館にまちの皆さんから 寄贈いただいた本

- ・ エクセルマクロ入門 / 学研
- ・ エクセル関数 / 学研
- ・ CD&DVD作成超入門 / 技術評論社
- ・ 100%寅さん! / 宝島社
- ・ 渥美清 没後20年 寅さんの向こうに / 小泉信一監修
- ・ 今日の料理9/11月号 / NHK出版
- ・ 大山日本遺産物語 地蔵信仰と牛馬市 / 吉島潤承

ありがとうございました。

